

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立茨田西小	学校
----------	----

児童数	122
-----	-----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.33	18.56	31.27	36.50	41.29	9.52	157.07	19.23	50.85
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	14.96	17.92	32.31	35.50	31.81	9.88	144.79	11.38	50.45
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

男女ともに「運動をすることは好き・やや好き」と肯定的な回答をした児童の割合は85%を超えている。特に男子は「好き」と最も肯定的な回答が80%、また「体育科の授業は楽しい」についても最も肯定的な回答が83%と高く、運動好きであることがわかる。地域のスポーツクラブに参加している児童の割合も70%を占めるにも関わらず、ほぼすべての項目において大阪市・全国平均を下回った。女子においても同様な傾向が見られ、運動に楽しさを感じ、好んでいることがわかるが、結果は1項目を除いて大阪市および全国平均を下回った。よって、体力合計点についても、男子が全国平均から-2.17ポイント、女子は-3.52ポイントと大きく下回る結果となった。

1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子が17.8%、女子が14.3%であり、男子は全国平均の2倍近くを占めていた。

これらの結果から、日ごろから運動量を十分確保できていないことや運動の質に偏りがあり、男女ともに体力の低下につながったと考える。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校は広い運動場が魅力の一つであり、様々な外遊びができる。休み時間や放課後の外遊びを推奨し、教職員も児童とともに体を動かし、児童が運動することの楽しさを感じ取れるようにしてきた。しかし、この2年間は工事により運動場が片面使用や全面使用不可もあり、外遊びや体育科の学習に制限がかかった。体育科の授業において運動量の確保はもちろん、休み時間には講堂開放も行い、児童の体力が低下しないよう取組を工夫してきた。特に、体育科の学習においては、体力の向上が視覚的に捉えられるよう、年間を通して学習カードを活用し、自分の成果を実感できるようにした。今日はどんなことを意識して学習するか「見える化」したことで、学習への意欲や運動を楽しもうとする意欲は高まった。

体力テストにおいては、実施の前に各自で目標設定をし、目標の達成に向けて取り組むようにした。6年間を通しての自分の体力の変化を知ることができる体力テストカードを作成し、昨年度の記録をもとに今年度の目標を設定し、記録を更新しようと挑戦する姿が見られた。

運動場がさらに広くなり、全面使用できる環境となった今、児童の体力向上を目指し、体育科の授業においては運動量を十分確保すること、全身を使った運動や持久力を高める運動を計画的に取り入れ、運動の質を高めること、児童が「できるようになった」「記録が更新した」といった喜びや達成感が味わえる取組を工夫するなど、力を注いでいきたい。